



Photostud

## THE KYODO NEWS HAI (TOKINOMINORU KINEN)

## 第59回 共同通信杯 (トキノミノル記念) (GⅢ)

1 着 2 着 3 着 4 着 5 着  
本 賞 41,000,000円 16,000,000円 10,000,000円 6,200,000円 4,100,000円  
付加賞 329,000円 94,000円 47,000円



レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 馬齢重量

2025.2.16 東京 曇・良 芝1800m (国際) 特招

着順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	②	マスカレードボール	牡	3	57	坂井瑠星	1:46.0	2-3-3	33.7	464(-8)	3.81	手塚貴久(美浦)	113
2	④	カラマティアノス	牡	3	57	戸崎圭太	1	6-6-5	33.4	466(+4)	14.1	奥村 武(美浦)	111
3	⑤	リトルジャイアンツ	牡	3	57	横山典弘	2	8-8-8	33.3	446(-4)	5.4	村田一誠(美浦)	108
4	⑥	ネブラディスク	牡	3	57	武 豊	1 1/4	5-5-5	34.0	442(-6)	5.7	福永祐一(栗東)	106
5	①	サトノカルナリル	牡	3	57	R.キング	1/2	3-4-4	34.2	518(-)	4.1	堀 宣行(美浦)	
6	⑥	ショウナンマクベス	牡	3	57	横山和生	5	6-7-7	34.6	482(+4)	33.4	武市康男(美浦)	
7	⑦	チョングク	牡	3	57	丸田恭介	1 1/4	8-9-9	34.3	472(+2)	245.9	南田美知雄(美浦)	
8	⑧	レッドキングリー	牡	3	57	北村宏司	アタマ	1-1-1	35.9	504(±0)	3.9	木村哲也(美浦)	
9	③	ワンモアスマイル	牡	3	57	横山武史	2 1/2	3-2-2	36.2	460(+4)	26.2	藤岡健一(栗東)	

単勝②380円(1 1/2倍) 複勝②150円(2 1/2倍) ④270円(6 1/2倍) ⑨170円(3 1/2倍) 枠連②-④2,930円(11 1/2倍)

馬連②-④2,730円(13 1/2倍) ワイド②-④750円(13 1/2倍) ②-④430円(5 1/2倍) ④-⑨910円(14 1/2倍)

馬単②-④4,150円(23 1/2倍) 3連複②-④-⑨4,160円(17 1/2倍) 3連単②-④-⑨21,280円(98 1/2倍)

5重勝⑥⑩⑬①②23,420,430円(30票) 対象競走: 京都10R/東京10R/小倉11R/京都11R/東京11R



通過タイム: 600m 800m 1000m 上り: 800m 600m  
36.4 - 48.0 - 1:00.0 46.0 - 34.2

### アラカルト

- ・坂井瑠星騎手は共同通信杯初勝利。JRA重賞は通算20勝目
- ・手塚貴久調教師は共同通信杯初勝利。JRA重賞は通算39勝目
- ・ドウラメンテ産駒はJRA重賞通算27勝目

# マスカレードボール Masquerade Ball

牡 黒鹿毛 2022.3.2生  
 北海道千歳市 社台ファーム生産  
 馬主・宥社台レースホース 美浦・手塚貴久厩舎  
 馬名意味・仮面舞踏会

ヴァインゴールドUSA系 F4→

ドゥラメンテ 鹿毛 2012	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	アドマイヤグルーヴ 鹿毛 2000	サンデーサイレンスUSA エアグルーヴ
マスクオフ 青鹿毛 2009	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	ビハインドザマスク 鹿毛 1996	ホワイトマスルGB ヴァインゴールドUSA

5代までのインブリード：サンデーサイレンスUSA S3×M3  
 Mr.Prospector S4×M4 Lyphard M5×M5

## INTERVIEW

東礼治郎場長(社台ファーム)

### とても嬉しい勝利となりました

この中間はリフレッシュを図りつつ、放牧先と手塚厩舎で前走の敗因のあぶり出しと対応を協議・共有しながら、課題を塗りつぶしていく時間だったと感じています。その日々に馬が応えてくれたことと同時にクラシックへ向けて明るい光が差し込んできた、とても嬉しい勝利となりました。これこそ期待通りの走りでしたし、本番でも存分に力を発揮してほしいですね。



Y.Hamano

互角の勢いで飛び出したマスカレードボールの坂井瑠星騎手は、馬と呼吸を合わせながら徐々に位置を下げ、離れた3番手に腰を落ち着ける。函館2歳Sの覇者サトノカルナバル、リズグラシューの半弟にあたるネブラディスは2馬身ほど後ろの中国を追走。若竹賞を豪快に差し切ったリトルジャイアンツは後方2番手で末脚を温存した。直線に向くと馬群は横に散開。坂の上りでは最内を突いて伸びてきたことやまき賞の勝ち馬カラマティアノスが先頭へ抜け出す。しかし前の動きを見定めつつ、追い出しのタイミングをはかっていた坂井騎手が本格的に仕掛けると、マスカレードボールは弾けるような末脚を発揮。ラスト2分のラップ(1秒5―11秒2)が物語る通り、バテてはいなかったカラマティアノスを鋭く捉えてゴールに飛び込んだ。

ドゥラメンテのラストクロープ、重賞を2勝したマスコトディーヴァの半弟にあたる本馬は、新潟・芝1600mの新馬戦を豪快に差し切ると、続くアイビーSは3番手から抜け出して好時計(1分45秒8)で快勝、クラシック候補と脚光を浴びた。無傷の戴冠に挑んだホープフルSは大外枠も響いて後方に置かれ、大敗(11着)を喫したものの、態勢を立て直して臨んだ3歳の始動戦で軌道を修正。鋭い決め手を冴え渡らせて汚名返上の勝利を飾り、反攻の狼煙をあげた。

## 父ドゥラメンテ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、首9戦5勝(日本ダービー<sup>G1</sup>、皐月賞<sup>G1</sup>、中山記念<sup>GII</sup>、ドバイシーマクラシック・首<sup>G1</sup>2着、宝塚記念<sup>G1</sup>2着)、最優秀3歳牡馬、17年から供用、21年死亡。23年日本リーディングサイヤー、22年日本2歳リーディングサイヤー

〔代表産駒〕**リパティアランド**(桜花賞<sup>G1</sup>、オークス<sup>G1</sup>、秋華賞<sup>G1</sup>)、**タイトルホルダー**(菊花賞<sup>G1</sup>、天皇賞(春)<sup>G1</sup>、宝塚記念<sup>G1</sup>)、**スターズオンアース**(桜花賞<sup>G1</sup>、オークス<sup>G1</sup>)、**ドゥレツツア**(菊花賞<sup>G1</sup>)、**ルガル**(スプリンターズS<sup>G1</sup>)、**シャンパンカラー**(NHKマイルC<sup>G1</sup>)、**ドゥラエレーデ**(ホープフルS<sup>G1</sup>)、**ヴァレーデラルナ**(JBCレディスクラシック<sup>JnI</sup>)、**アイコンテラー**(JBCレディスクラシック<sup>JnI</sup>)、**サウンドビバーチェ**(阪神牝馬S<sup>GII</sup>)、**シュガークン**(青葉賞<sup>GII</sup>)、**シングザットソング**(フィリーズレビュー<sup>GII</sup>)、**ドゥーラ**(クイーンS<sup>GIII</sup>、札幌2歳S<sup>GIII</sup>)、**シーズンリッチ**(毎日杯<sup>GIII</sup>)、他に重賞勝ち馬多数

## 母マスクオフ

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央5戦1勝

ミヤコノオージ(15 牡父タイキシャトルUSA)中央3戦0勝

ルイジアナママ(16 牡父エイシンフラッシュ)中央11戦2勝

(17 牡父ルーラーシップ)

トウフェイス(18 騊父モーリス)中央22戦4勝(江の島S、箱根特別、オーク

トーパーS・L3着、大阪一ハンブルクC<sup>Op</sup>3着)

スガオノママデ(19 牝父ハービンジャーGB)中央1戦1勝

**マスコトディーヴァ**(20 牝父ルーラーシップ)中央9戦4勝(ローズS<sup>GII</sup>、阪

神牝馬S<sup>GII</sup>、秋華賞<sup>G1</sup>2着、ヴィクトリアマイル<sup>G1</sup>3着)

**マスカレードボール** 本馬(22 牡父ドゥラメンテ)中央4戦3勝(共同通信杯

<sup>GIII</sup>、アイビーS・L) 獲得総賞金65,718,000円

(23 牡父エビファネイア)

(24 牝父モーリス)

※14(死産)、21(流産)

## 祖母ビハインドザマスク

北海道千歳市 社台ファーム生産 中央10勝(スワンS<sup>GII</sup>、京都牝馬S<sup>GIII</sup>、セ

ントウルS<sup>GIII</sup>、都大路S<sup>Op</sup>、小倉日経オープン<sup>Op</sup>、北九州短距離S<sup>Op</sup>)、12年死

亡、**オメガヴェンデッタ**(阪急杯<sup>GIII</sup>2着、スワンS<sup>GII</sup>3着、京王杯スプリング

C<sup>GII</sup>3着)、**マスコトヒーロー**(師走S<sup>Op</sup>、マーチS<sup>GIII</sup>3着)の母、**サンライズ**

**ア**(平安S<sup>GIII</sup>、名古屋大賞典<sup>JnIII</sup>、ジャパンダートダービー<sup>JnI</sup>2着、武蔵野

S<sup>GIII</sup>2着、チャンピオンズC<sup>G1</sup>3着、JBCクラシック<sup>JnI</sup>3着、種牡馬)の祖母

## 1 番人氣馬の勝利は11年ぶり

過去10年間の優勝馬中6頭がその後にGIを制覇。「出世レース」として名高い共同通信杯だが、1番人氣馬の勝利は2014年のイスラボニータを最後に途絶えていた。とはいえ上位人氣の5頭がそれほど差のない支持を集め、例年以上の混戦ムードに包まれた今年は、僅差で1番人氣に支持されたマスカレードボールが快勝。先の「連敗記録」に終止符を打つとともに、春のクラシックへ向けてリスタートの一步を踏み出した。

お互いの出方を窺い合うような先行争いから、一番のスタートを切った東京スポーツ杯2歳Sの3着馬レッドキンググリーが抜け出してレースを先導。